

令和6年度環境保全報告書

生活協同組合コープこうべ

① 環境保全報告書の記載範囲

生活協同組合コープこうべは、兵庫県下全域および大阪北摂地域で事業を行っている組織であり、環境の重点取組目標・計画は全体で策定しております。そのため、以下の記載内容はコープこうべ全体の実績の報告となります。

② 当該年度の重点取組目標・計画の実施状況

ア. チャレンジ 1「CO2 排出量を半減！」（基準年：2013 年度 政府目標の基準年と同一）

エネルギー使用量の削減や再エネ 100%事業所の展開など、「量の削減」・「質の改善」両面の取り組みにより、排出量（2023 年度※¹）は基準年比 62%（▲38%）、前年差+3%とほぼ横ばい※²。

※1 CO2 排出量は最新の 2023 年度確定値を記載（2024 年度実績は 2025 年 11 月頃に確定予定）。

※2 2023 年度は、大部分の事業所の電気契約を関西電力（CO2 排出係数・高）へ切り替えたことにより、電気由来の排出量は増加したが、軽油や都市ガスの使用量減少により、総排出量はほぼ横ばい。



	2024 計画	2024 実績	評価
1	他社電力会社に契約を切替えた事業所の「コープでんき」供給を一部再開（89 事業所）	2023 年度に時限措置として電気契約を関西電力に切り替えた大部分の事業所について、CO2 低排出量の「コープでんき」供給を一部再開（89 事業所）。	○
2	「再エネ 100%事業所」はスタート時の 8 事業所を継続【質の改善】	「再エネ 100%事業所」はスタート時の 8 事業所を維持し、CO ₂ 排出量の削減に寄与。CD 豊岡は地元の朝来バイオマス発電所からの調達を主とした電源であることに加え、「非化石証書付き」の電気供給としており、再エネの地産地消を推進。	◎
3	「省エネチューニング※」全店舗の契約期間満了後における省エネ施策の継続【量の削減】 ※専門業者による冷蔵冷凍機器・空調の運用調整により省エネ効率を改善させる施策。	5 月末で同施策の契約満了を迎えた店舗については、前年度までに満了を迎えた店舗と同様、省エネ設備を残置。設備保守等は引き続き別会社に委託し、省エネ対応を継続。	○
4	宅配コマナビメントによる配送効率の向上（走行距離・使用燃料の削減）および AI を活用したコース整理。	適正な区域数でのセンター運営に向け、訪問ルートの見直しをすすめ、42 区域を削減。走行距離は年間で 70,018Km 削減され、不要になった車両 33 台についてもリース契約を解除。	○

5	E Vトラックの導入検討・EV 車の稼働率向上【量の削減・質の改善】	8月にコープムービングがE Vトラック（メール便4 t車）を導入。コープこうべにおけるEV トラックは、引き続き日生協等と連携しながら情報収集を継続。	△
6	設備更新の際、省エネ設備への切替えを促進（空調8店舗・LED 2店舗・冷ケース4店舗を計画）【量の削減】	・空調機の更新（住吉事務所、C 夙川他4か所） ・LED 照明に更新（C 志染、C めふ、C 安倉他27か所） ・冷ケースの更新（C 神吉、C 志染他6か所）	◎

イ. チャレンジ2「食品廃棄物を半減！」(基準年:2015年度 SDGsの基準年と同一)

店舗の廃棄ロス削減の継続的な取り組み、および堆肥化業務の外部委託化に伴うエコファームの食品残さ「回収店舗・品目拡大」により、基準年比62.4%と順調に削減。

	2024 計画	2024 実績	評価
1	エコファームの資源回収 ①食品残さ回収の安定稼働を実現。 ②回収店舗を58店舗から65店舗に拡大	①残さ回収の安定稼働を推進、リサイクル率の向上に貢献。 ②回収対象外である大阪北地区エリアの店舗を中心に回収店舗拡大のため、行政申請手続きに着手。 ※2025年4月11日に行政許可が下り、58店舗から65店舗へ拡大済。	◎
2	店舗事業における取り組み内容 ①生産部便の1日1便への変更に対応し、チャンスロス・ロス削減の両立施策を実施 ②「てまえどり」運動のさらなる推進のため、期限が迫った商品の購入促進策の検討	① 店舗運営部スタッフによる昼便店舗の巡回・実態把握・指導を強化し、ロス削減施策を推進。 ② 期限が迫った商品の購入がこども食堂への寄付につながる「ハピネスチャージキャンペーン」をCD神戸西、C龍野で実験的に展開。 ①②等の取り組みにより、 生鮮・日配の廃棄ロス金額は前年比99.1%、金額にして約4.983千円の削減 を実現。	○
3	CD豊岡にて、消滅型生ごみ処理機「POITO」を導入。店舗で発生する生ごみの削減を実施	年間約20tの 食品廃棄物の排出削減に加え、一般廃棄物処理費の削減(130万円/年間) に貢献。2024年度末にはCD相生、C龍野、C姫路田寺の3店舗にも同機種の追加導入を実施。	◎
4	魚崎浜、見津が丘の各集配センターで発生する余剰商品の有効活用を検討	宅配「めーむ」の11月2回・1月4回企画にて、WEB限定で余剰商品のテスト販売を実施（2企画合計で6品目134点を供給）。今後もテストを重ね、継続して実施できる仕組みづくりを推進。	○

ウ. チャレンジ3「プラスチック使用量を25%削減！」(基準年:2017年度)

取り組み強化により、基準年（2017年）比80.2%まで削減。

	2024 計画	2024 実績	評価
1	商品包材や資材におけるプラ削減を推進	宅配内袋の薄肉化 に向けた検証に着手。 2025年度の実装に向けて準備中。	○
2	畜産ノントレイ商品の拡充	2022年度より企画連動での対応を図り販促を強化しているが、2024年度は数量、供給高共に前年割れの実績。次年度に向けアイテムの改廃を実施し、ノントレイ強化を推進。	△
3	「マイバッグ運動NEXT」の推進	各種広報、レンタルバック・シェアバッグの取り組みを推進し、マイバッグ持参率はほぼ横ばいの90.5%（前年差▲0.1%）。	△

4	宅配内袋の再利用（店頭リサイクル BOX 回収袋）	宅配内袋をリサイクルし、店舗の店頭リサイクル BOX 回収袋を製作。店舗での実使用において、破れ易い等の不具合が発生。使用を中止し、従来品へ切り替え。	×
---	---------------------------	---	---

エ. チャレンジ 4「エシカルな商品やサービスの開発・供給推進！」

エシカルな商品や「コープでんき」の普及・拡大、脱プラ施策の強化等を実施。

	2024 計画	2024 実績	評価
1	6 月と 10 月の環境・エシカル強化月間を中心にエシカルな商品の企画・供給促進	環境・エシカル強化月間を中心に、地産地消（ネクスト 100 商品等）や被災地支援、脱プラ等、店舗・宅配・商品政策推進室と連携し、エシカルな商品の企画・供給を実施。	○
2	「コープでんき」理解促進策の実行	・「コープでんき」契約組合員（抽選 1000 名※前年から 400 名増加）にエコファームのソーラーシェアリングで栽培された野菜のプレゼント企画（抽選）を実施。 ・固定価格買取制度が終了した組合員宅からの太陽光発電「余剰電力買取サービス」を継続実施（2025 3 月末時点 131 件）。	○
3	循環型社会の実現に向けた新たな資源の有効活用への推進	・寄付機能付きペットボトル減容回収機を新たに 12 店舗（CM 南甲子園、C 神吉、C 西宮東、C 西宮、C 甲子園口、CD 芦屋、C 甲南、C 三木緑が丘、CD 神戸北町、C 高砂、C 大久保、CD 豊岡）に設置。集めた寄付金を地域団体へ贈呈（504,247 円）。 ・海洋プラスチック買い物かごを C 神吉に設置。 ・KC 宝塚、KC 須磨にて、廃食油リサイクルの実験展開に着手。 ・事業活動における食品廃棄物半減、および「土の地産地消」の実現に向け、コープこうべ・神戸市（下水処理場由来の「こうべ再生リン」提供）・リサイクラー（大栄環境㈱）・メーカー（自然応用科学㈱）との協働により、「兵庫県産の食品リサイクル堆肥を使用した花と野菜の培養土」の開発に着手。	◎
4	羽毛の回収・リサイクルについて、店舗での実施継続・強化	29 店舗にて羽毛を回収、2843 枚（前年比 85.7%）と前年減。	△
5	組合員・行政・他社と連携し、資源循環の取り組みを強化	神戸市等と協働で進める、「使用済みつめかえパック」の回収・リサイクルの取り組みを推進。舞子公園で開催した「うみかぜ音楽祭（10/6）」等にて普及・啓発イベントを開催。	○

オ. チャレンジ 5「組合員とともにエシカル消費・活動を拡大！」

新コンテンツの企画・実施を通して、エシカル消費・活動を展開。

	2024 計画	2024 実績	評価
1	「玉津のつどい場（たまろっと）」の SDGs 拠点化を推進。紙リサイクル機器「ペーパーラボ」を活用し、資源循環・障がい者雇用の取り組みを推進	・住吉事務所で発生する古紙を原料とした「紙リサイクル」を実現。古紙の仕分け、製紙作業を阪神友愛や地域の作業所に依頼することで、障がい者雇用にも貢献。 ・コープこうべ内外の見学を受け入れ、SDGs の具体化拠点として活用。	◎

2	防災をテーマとした「地域つながるフォーラム 2024」を開催	9月21日(土)、生文Cにて「備える」をテーマに開催。防災専門家による講演会や地域の防災活動団体等によるワークショップや防災食の試食等を実施。親子連れ等 167 名が参加。	◎
3	エシカルやSDGsに関する講演会・学習会の実施	コープ委員会や外部団体・学校からの講演・学習会依頼に対応し、計 34 回、延べ 1004 人がエシカルやSDGsに関する講義を受講。	○
4	フードドライブ常時受け付けの継続、店舗・宅配での集中取り組みを年 2 回(9月・1月)開催	全コープ店(CMは除く、CMルミナス箕面は実施)でフードドライブの常時受付を継続実施。9月と1月には全店舗・全宅配で集中受付キャンペーンを実施。年間で約 49 t の食品を回収。	○
5	職員研修(まNavi)ツールとしてSDGs関連映画の視聴・学習企画「シネマ de SDGs」を継続開催	年間のべ 50 人が企画に参加し映画を視聴。環境破壊や食品ロス、地域紛争などの社会課題について、映画を通じて学習。	○
6	日生協主催のコープサステナブルアクション(「生き物探し」「WEB 学習会」等)に積極参画	各地区本部に対してアクション説明会の案内・企画参加を呼びかけ。	○
7	古紙めーむ・宅配内袋の返却の呼びかけ強化を実施。回収率向上を促進(継続)	古紙めーむ回収率「62.2% (前年差△3.3%)」、宅配内袋回収率「18.2% (前年差△0.2%)」の実績。	△
8	『きょうどう』にて持続可能な農業・食育に関するコラムを掲載	・「ステーション」で、エコファームの資源循環の取り組みを紹介。また、別号ではエコファームで開催している有機農業教室の特集号を掲載。 ・昨年度掲載した雑誌「FRaU」のエコファームの特集記事を含めた「環境活動のあゆみ」を作成。学習会を中心に配布。	○
9	「ラジオ関西」(毎月)でのエコの取り組みの発信	「コープエコのはなし」と題したラジオ番組を企画し、毎月テーマ設定し時節に沿った情報を発信。	○

③ 食品工場における公害防止対策に係る報告

ア. 目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

目 標 項 目		目標達成状況	目標達成のために講じた措置・対策
防大 止気 対汚 策染	ばい煙の排出規制の遵守	排出にかかる目標値を全ての測定結果が満たしていた。 (測定結果は別途報告)	◆ばい煙発生施設の適正な維持管理に努めるとともに、年2回のばい煙測定を実施し、目標値の遵守状況を確認した。
防水 止質 対汚 策濁	(公共下水道を使用する場合)		
	排除基準の遵守	排出にかかる目標値を全ての測定結果が満たしていた。 (測定結果は別途報告)	◆排水処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、月2回の放流水水質検査により目標値の遵守状況を確認した。
	雨水への油漏洩防止対策	雨水への油漏洩防止	◆手順書作成及び教育実施
止悪 対臭 策防	法令等の基準の遵守	特に異臭が発生することはありませんでした。	◆排水処理設備脱臭装置活性炭交換
染土 対壤 策汚	土壌汚染の未然防止	油、薬品等の土壌への流出はありませんでした。	◆手順書作成及び教育実施
産業 廃棄 物対 策	法令等の規制を遵守	◆ 法令等に定める産業廃棄物管理票(マニフェスト)制度、廃棄物の保管・処理基準を遵守し、法定の記録・報告を実施した。	
	廃棄物の発生抑制・再利用	◆産業廃棄物の再生利用、再資源化等の有効利用及び減量化に関する処理計画を策定し、必要に応じ市へ報告を行った。 ◆工程の見直しを行い、廃棄物の発生抑制・再利用を積極的に実施した。	
P R T R 法	特定化学物質の排出量及び移動量の報告	該当無し	

イ. ばい煙発生施設のばい煙測定結果

施設名	硫黄 酸化物	ばいじん [mg/m ³ N]	窒素酸化物 [ppm]平均値
No.5 ガスエンジン 400 k w ヤンマー E P 400	K 値 1.17 以下 総量規制	0.0050	115
No.6 ガスエンジン 400 k w ヤンマー E P 400	K 値 1.17 以下 総量規制	0.0047	125
No.7 ガスエンジン 815 k w 三菱重工 S G P 815	K 値 1.17 以下 総量規制	0.0047	310
コガタカンリュウボイラー ミウラ A I -1000H	K 値 1.17 以下 総量規制	0.0074	37.5
1-A コガタボイラーミウ ラ S Q -2000 Z S	K 値 1.17 以下 総量規制	廃止	廃止
1-B コガタボイラーミウ ラ S Q -2000 Z S	K 値 1.17 以下 総量規制	廃止	廃止
1-C コガタボイラーミウ ラ S Q -2000 Z S	K 値 1.17 以下 総量規制	廃止	廃止
1号コガタボイラーミウラ S Q -3000 A S	K 値 1.17 以下 総量規制	休止	休止
2号コガタボイラーミウラ S Q -3000 A S	K 値 1.17 以下 総量規制	0.0088	20.5
3号コガタボイラーミウラ S Q -3000 A S	K 値 1.17 以下 総量規制	0.0085	22
4号コガタボイラーミウラ S Q -2000 A S	K 値 1.17 以下 総量規制	0.0080	3125
5号コガタボイラーミウラ S Q -2000 A S	K 値 1.17 以下 総量規制	0.0075	28.5
58-Z 01-A シグマ T U G 360 A N 9 C	K 値 1.17 以下 総量規制	0.0061	26.5
58-Z 01-B エフィシオ N H G 3 6 0 A N 9 A	K 値 1.17 以下 総量規制	0.0077	24

ウ. 排水水の汚濁状態測定結果

放流水水質測定結果										
項 目				管理目標値	測 定 値		全測定回数	目標値を超過回数	目標値達成判定	法令基準達成判定
					最大 (pHのみ 最小～最大)	平均				
項目 法令排水基準設定	1	水素イオン濃度 (p H)		5.0～9.0	6.4-7.5	6.8	24	0	○	○
	2	生物化学的酸素要求量 (B O D)	2000 以下	2000 以下	1.9	0.9	24	0	○	○
	3	浮遊物質 量 (S S)	2000 以下	2000 以下	12	5.5	24	0	○	○
	4	ノルマルヘキサン油類	150 以下	150 以下	3.1	0.7	24	0	○	○

単位は p Hを除き、m g / ℓ ○ 達成 × 未達

以上